

秀島敏行 後援会だより

しっかり生きる

少々生きにくい世の中のようにも思えますが、佐賀市では厳しい財政状況の中でも工夫して市民の生活を守り、向上させる取り組みをしています。私たち住民もしっかり暮らしていきましょう。

川副町大詫間のお元気なおひとりで暮らしているらっしゃる91才の吉富シズヨさんをご紹介します。



吉富シズヨさん

【趣味】 花作り、野菜作り、漬物作り

【生きがい・楽しみ】 デイサービス。最高の楽しみだったが、今年1月でなくなり語らいの場がなくなり淋しい。日中近所の人や友人がよく遊びに来てもらうので昔話に花を咲かせている。

【得意なこと】 仏様にお経をあげること。新聞をよく読み、世の中の情報を知ること。本をよく読む。

【日課】 朝起きるとき寒いので、布団の上で体全体をマッサージ。暇なときは表の道路を行ったり来たりして足の運動。

【心がけていること】 一人暮らしなので火の用心を心がけている。お風呂は夜でなく、昼に入る。

【健康の秘訣】 食事は腹八分目。消化の良いものを食べ、野菜は畑で作っているものを色とりどりに。魚は骨まで食べられるような物を選ぶ。

【今の世の中は?】 上下関係が薄らいでいる。又、親子の関係が薄らいでいるのは悲しい。殺伐とした世の中を「風の神様」が吹き飛ばして下さったらと思う。

【気がかりなこと】 大詫間全体が親戚みたいで気がかりなことはない。みんな道を外さず支え合いながら一日一日を大事に心強く生きたいと思う。

【市長さんに言いたいこと】 大詫間はバスもあるので病院や買い物に助かり感謝している。バスでの語らいが楽しい。厳しい状況の中、市民24万人を背負う市長さんの大きな胸に支えられ私達は一日一日を心安らかに過ごさせてもらっている。その心の支えに奥さんの優しさが浮かぶ。



吉富さんの記述をもとに

吉富さんを訪ねて

びっくりするほどきれいに、そして楽しく整えられた部屋々々。どの部屋にも手芸サークルでの作品が飾られ、お正月かひなまつりのよう。庭にはていねいにきちんと花が植えられ野菜が青々と茂っていた。訪れた私たちに近所に住む姪子さんの手も借りて、きれいな紅の栗ごはんなどの食事を準備してもらっていた。皆さんに振る舞うのがお好きとのこと。時折り帰省される息子さんが整備する自転車に今でも乗れるとのこと。これは歩いていてのことだが、たまたま事故で3針縫うほどの傷を負っても、自分でバスに乗りお医者さんに行かれたとか。そして、相手のことを一言も責めたりされなかったそうだ。ご先祖さまにお願いばかりは悪いから、自分の88才の記念に吉富家と実家のお墓に金粉を塗ってお礼をしたり、種を蒔いた大根にも「ひなまつりに間に合うように大きくなって」と言葉をかけるなど、世界観が広くてやさしい。

こんな風に自分が周囲の人々の中で生かされていることを実感し、周囲の人を大切にすることで、結局は自分がしっかり生きている吉富さん。社会的観点からも財政的観点からも素晴らしい市民でいらっしゃる。私たちも見習いましょう!! (編集者) 坂井、岩尾

私も一言



後援会会長
貞森比呂志

「無縁社会」。最近、NHKを始めマスコミがよく使う言葉です。人の絆が弱まりうすらぎ、人間関係を持たぬ人の増えた世相を表す造語です。個人が孤人になり、孤独死（自殺・病死）が何と毎年三万人を超えるとか。まさに由々しき時代です。寒々とした世の中になりました。

社会や地域は本来、人と人の交わり・付き合い・助け合い・協力で成り立つものです。古くは「地縁社会」「運命共同体」とも言われました。それがガラガラと音を立てて崩れて行く我が国の姿に心を痛める人は、決して少なくないと思います。

さて、吉富さん訪問の文を読んで正直ほっとしました。佐賀はまだまだ大丈夫だと、うれしくなりました。ひとり暮らしをしっかりと続けながらも近所付き合いのぬくもりを大切にしている姿が目に見えます。日本人が昔から受け継いできた尊いものを、吉富さんは失わずに持ち続けられたのだなと感心しました。

これから目指すべきは人の心や情を大事にするぬくもりの地域づくりです。秀島市長を先頭に皆で頑張りましょう。吉富さんありがとう。どうぞお達者でお過ごしください。

しっかり育てる

厳しい財政状況ではありますが、市では将来を担う子ども達を育てるため、できる限りの施策を考えています。市長自身にそれを披露してもらいました。



将来を担う子どもを育てるために

子どもたちが確かな学力を身につけ、学ぶ喜びを感じ、佐賀市に誇りや愛着を持てるように、きめ細やかな環境教育づくりを推進します。

現在佐賀市でも、小学校中学校を問わず、教育現場では難しい問題が山積しております。

一番気にかかるのは、教室で普通に授業ができなくなりつつあるということです。

佐賀市の小中学校において発達障害を始めとする個別の支援が必要とされる児童生徒は約2割の学級に在籍しているといわれています。

そのような子どもたちは、教師の言葉だけの指示や理解ができにくいため、見通しを持って活動することが難しかったり、他人とのトラブルを起こしてしまったりします。

このように戸惑いがちな子どもたちに、個別に適切な対応をするために生活指導員を配置していますが、十分ではありません。子どもたちがきちんと授業を受けられる環境にするため、生活指導員の数を大幅に増やしたいと考えています。そのことが子どもたちの学力向上にもつながると思います。

平成23年度予算から・・・予算を3月市議会に提案しています。

- きめ細やかな学習環境のための支援事業
発達障害など障がいのある生徒を支援し、子どもたちが落ち着いて授業を受けられるように、生活指導員を増員。
- 1歳児までの乳児の無料検診を2回から4回へ拡大。
- 子どもの医療費助成を拡充。
現行の小学校就学前までの医療費助成制度に加えて、小学1年から6年まで入院費を助成。
- 児童虐待防止のための相談体制の充実・強化・ファミリーコーディネーターを新しく配置。

川柳

真島美智子様

・両足で地球むんずとつかまえる

・再会へ帯メの位置まだ迷い

・菜畑へ団体様の野鳥達

・ぼたん雪心がはずむのも確か

・透明になるまで一句温める

・夢結びに行こうよ今日は日本晴れ

皆様のさまざまなジャンルの投稿を
お待ちしております。
次回会報発行予定は9月です。7月末
までに提出していただくと助かります。

後援会の今後の予定お知らせ

●3月5日(土)

・役員及び地域代表者会

●4月16日(土)

・後援会総会

時間/午後4時～

場所/グランデはがくれ



●その他に・・・

・2ヶ月に一回の企画会

・毎週、ひでしま敏行ホームページを更新しています。是非ご覧下さい。

・電話、FAX、メール又は直接皆様の声・意見をお待ちしています。

■ 後援会事務所へお出かけください。

◆ 秀島敏行後援会事務所は、月曜日～金曜日の13:00～17:30開けております。祝日は休み。

◆ 第1・第3月曜に月2回の事務局会議を行っています。皆様の疑問・質問をお寄せ下さい。お応えいたします。

◆ 駐車場はあります。

◆ ひでしま敏行ホームページ

<http://www.hideshow-office.jp/>

メール info@hideshow-office.jp



◆ 所在地/〒840-0042

佐賀市赤松町11番35号 ハイッゲン201号

(TEL) 0952-28-7177 (FAX) 0952-29-8618



※ 後援会は皆様の会費や寄付で運営しています。納付については事務所までお問い合わせ下さい。